

東大和市災害ボランティアセンター協議会 令和4年度第1回定例会

南街・桜が丘地域防災協議会本部

2022年04月18日

1. 序

表題2022年度第1回定例会が04月18日に社会福祉協議会会議室にて開催されました。本協議会は2014年度より開始され本年度で9回目を迎えます。近年はコロナウイルス感染症の拡大があり、市民のボランティアを含めての訓練を実施する事が、出来ない状況ですが、本年度の訓練もコロナウイルス感染症対応に考慮した形で計画し、06月11日(土)にハミングホールで開催する予定です。本日の第1回定例会では訓練の基本内容説明が社会福祉協会からあり、その内容の確認を行いました。

併せて図上訓練として「東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ」の確認を行いました。

2. 本日の議事内容

下記のレジメに従い議事を進めました。

東大和市災害ボランティアセンター協議会 令和4年度第1回定例会	
日 時	4月18日(月) 18:30~20:30
会 場	東大和市社会福祉協議会会議室
開 会	
1. あいさつ	
.	
2. 令和4年度災害ボランティアセンター設置・運営訓練について	
3. 図上訓練について	
4. その他	
閉 会	
次回	7月11日(月) 18:30~
会場	社会福祉協議会会議室

(1) 災害ボランティアセンター設置訓練の流れ

06月11日に開催予定の災害ボランティアセンター設置訓練の前日迄及び当日の訓練の流れは下表によります。

全体の流れ

前日までの流れ

5/19まで	国 語 書	・フォーマット作成 ・動画の準備	ボランティア受付のフォーマットを作成し、自動返信で動画のURLが申込者に送付されるよう設定を行う。		
5/30まで	ボ ラ ン テ ィ ア 役		メール送付	ボランティア役に受付のフォーマットをメールで送付する。	電 話 区 画
6/3まで	ボ ラ ン テ ィ ア 役	ボランティア申込み			
6/10まで	ボ ラ ン テ ィ ア 役		名簿作成	入力データを元にボランティア名簿を作成し、訓練当日に受付に用意する。	

当日の流れ

9:30	全 員	ハミングボール	・あいさつ・流れの確認・自己紹介			
9:45		災害VC設置	掲示物、物品、受付場所を設置。	セッティング	・会場を設置。 各自椅子と机を設置する。	①消毒を行う (定期的に) ②スタッフの 状況を把握する ③ニーズ受付を データにする ④写真を撮る ⑤日報を作る ⑥センター長に 活動の状況を 報告する。
10:00		相談受付	・電話で被災者からの相談受付、訪問先を地図等で確認。 ・人 相に分かれ、各種 件の相談対応。 ※受付の初めに、相談者の体調の確認を行う。 ※訪問調査を手短に行うため、電話で聞き取りをできる部分は聞き取りを行う。	電話相談	・VCへ電話し、シナリオに従い相談を行う。 ・住所等をスタッフへ伝え、訪問を受ける約束をする。	
10:30	被 災 者 支 援 班	訪問調査	各組、1ケース現地訪問し、調査する。 ※訪問先上がる前に、手指のアルコール消毒をする。 ※訪問先に着いたら、相談者の体温を測る。	被災者 相談	・スタッフの訪問を受け、具体的被害を伝える。	
10:35		ニーズ受付票作成	訪問終了後、「ニーズ受付票」を作成。	片付け	スタッフが帰宅したあと、会場を片付け、本部のある場所に戻る。	
10:55		引き継ぎ	ボラ支援班へ、相談者の情報をニーズ受付票をもとに引き継ぐ。 ボラ支援班が受付票等を作成している間、受付の設置を行う。	引き継ぎ	・被災者支援班よりボランティア募集票を引き継ぐ。 ・送り出しに必要な書類等を準備する。	
11:05	ボ ラ ン テ ィ ア	マッチングの見学	ボラ支援班が行っているマッチングの見学。	マッチング	事前のボランティア受付を元にマッチングを行う。	
11:30	ボ ラ ン テ ィ ア	ボランティアとして活動	受付から送り出しまで一通り体験する。	ボランティア受 入	・ボランティア役の受付をする。 ・担当を決め、送り出しをする。 ※受付時にボランティアの体温を測定する。 ※オリエンテーションは事前に動画視聴のため、一部割愛。	
11:45	全 員	振り返り				
12:00	全 員	終了				

(2) 役割分担

参加者及び各団体の役割分担は下表の通りで、今後参加人数に応じて役割分担をすることに致します。

R4年度災害 VC 訓練 役割分担一覧(R4. 4. 18現在)

1. 参加者※人数は予定。

	所属
①	社協職員
②	青年会議所
③	南街・桜が丘防災協議会
④	たんぽぽ
⑤	自治会関係者（③以外）
⑥	他区市社協・VC
⑦	障害ネット
⑧	民生児童委員
⑨	ほっと支援センター
⑩	市職員
⑪	その他
	合計

2. 役割分担

スタッフ役進行
センター長
副センター長※スタッフの統括
総務班（リーダー）
被災者支援班（リーダー） ボランティア、他団体役
ボランティア支援班（リーダー） 被災者役
送り出し
資機材

〈各担当の役割〉

①被災者支援班兼ボランティア、他団体役

- ・被災者に寄り添いながらニーズの聞き取りを行う。
- ・コロナ予防の視点を持って、行動する。

②ボランティア支援班兼被災者役

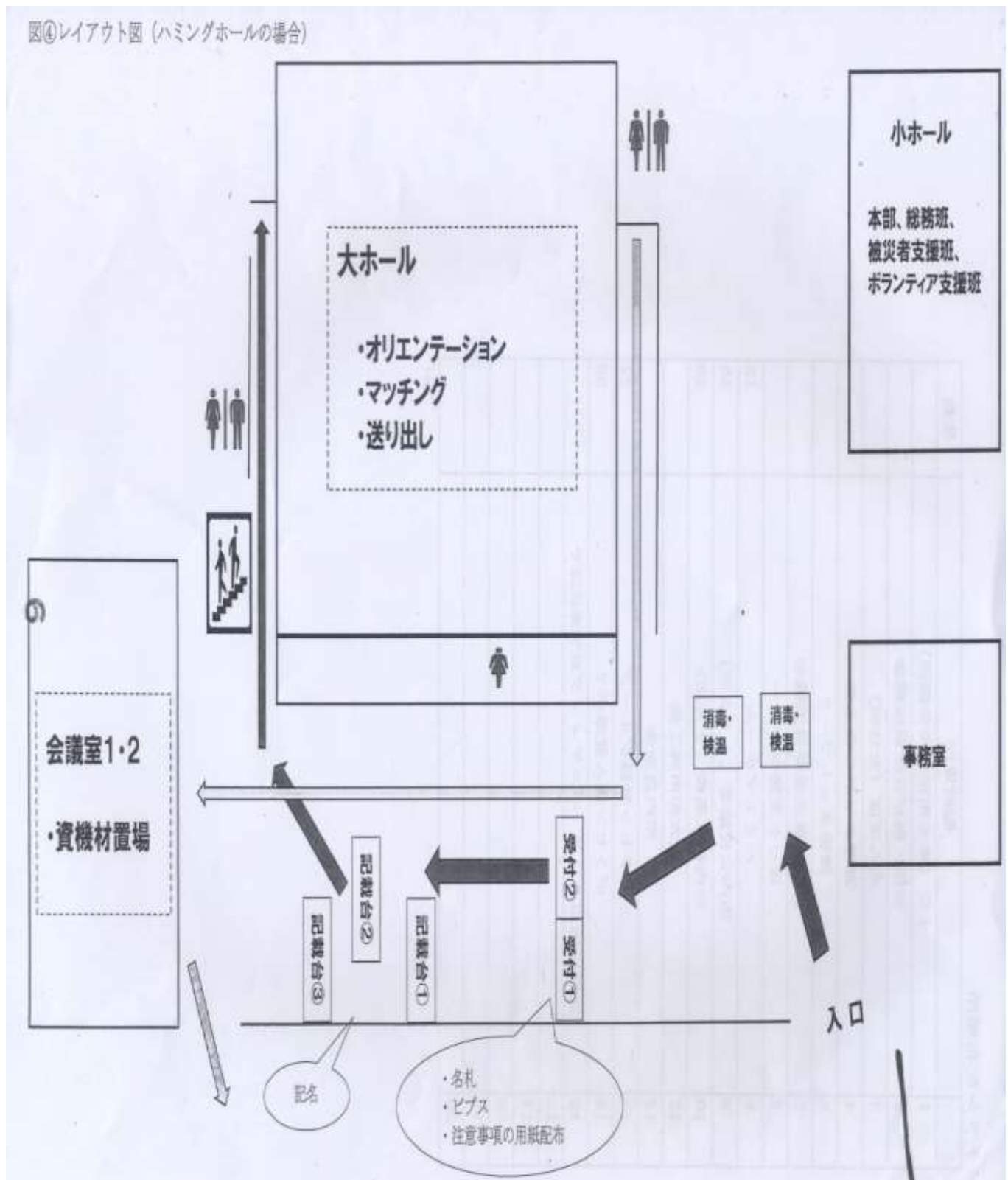
- ・ボランティア、他団体の受け入れを行う。
- ・コロナ予防の視点を持って、行動する。

③総務班

- ・事前ボランティア登録フォーム、オリエンテーション動画の作成、アップを行う。
- ・災害 VC の状況を SNS にアップする。

(3) ハミングホールでの会場レイアウト

訓練当日の会場のレイアウトは下図によります。



(4) 講演会の開催案内パンフレット(案)

下図を基本として、本日出された意見を参考に修正を行う。又各団体への配布部数及びポスター展示用としてラミネート加工の実施も確認されました。

東大和市社会福祉協議会主催 講演会 

大雨による水害被害が増えてきている日本。
実は、東大和市は近隣の市に比べて浸水予想範囲が
広範囲であることをご存知ですか！？
家が浸水すると、こんなことが起こります…。

- 濡れた畳は処分するしかない!?
- トイレから排泄物の逆流!?
- 床下は泥だらけ!?
- 浸水した水は雑菌だらけ!?

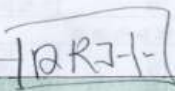
今回は、水害の被害にあった後に必要となる作業や受けら
れる支援について、過去の水害現場で実際に活動された方
を講師としてお招きし、分かりやすくお話していきます。
ぜひ参加して学んでみませんか！！

※図は、各市の
ハザードマップを
もとに浸水エリアに
色を塗り、貼り合
せたもの。
東大和市は右上。



日時:令和4年6月11日(土)14:00~15:30
※受付は 13:30 より
場所:東大和市民会館ハミングホール **無料**
定員:50名
**対象:市内在住の方。災害ボランティアや災害について
興味関心がある方。**
講師:災害対応 NPO MFP 代表 松山文紀氏

**えっ!!
まさか我が家…。
大雨で家が浸水。
その時あなたはどうしますか？**

<問合せ・申込先>
東大和市社会福祉協議会
TEL 042-564-0035
申込フォームは
こちらから 



(5) 図上訓練

図上訓練として、下記の「東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ」を参考として参加者が三班に分かれて「東大和市全体の浸水・土砂災害ハザードマップ」を白紙地図に書き込み作業を行いました



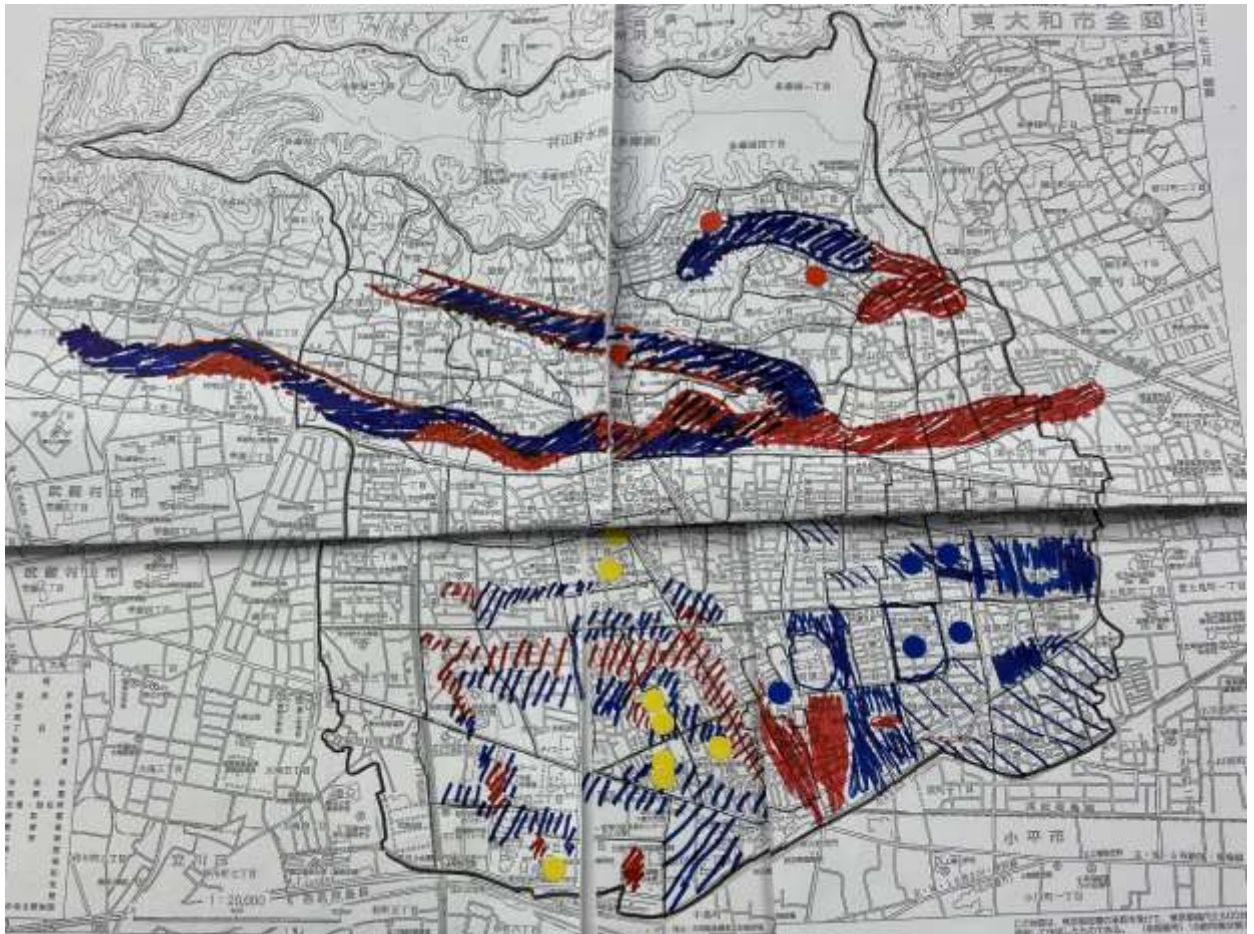
各班の作業状況



実際の地図を確認し、
白地図へ書き込みを行いました。



完成した東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ



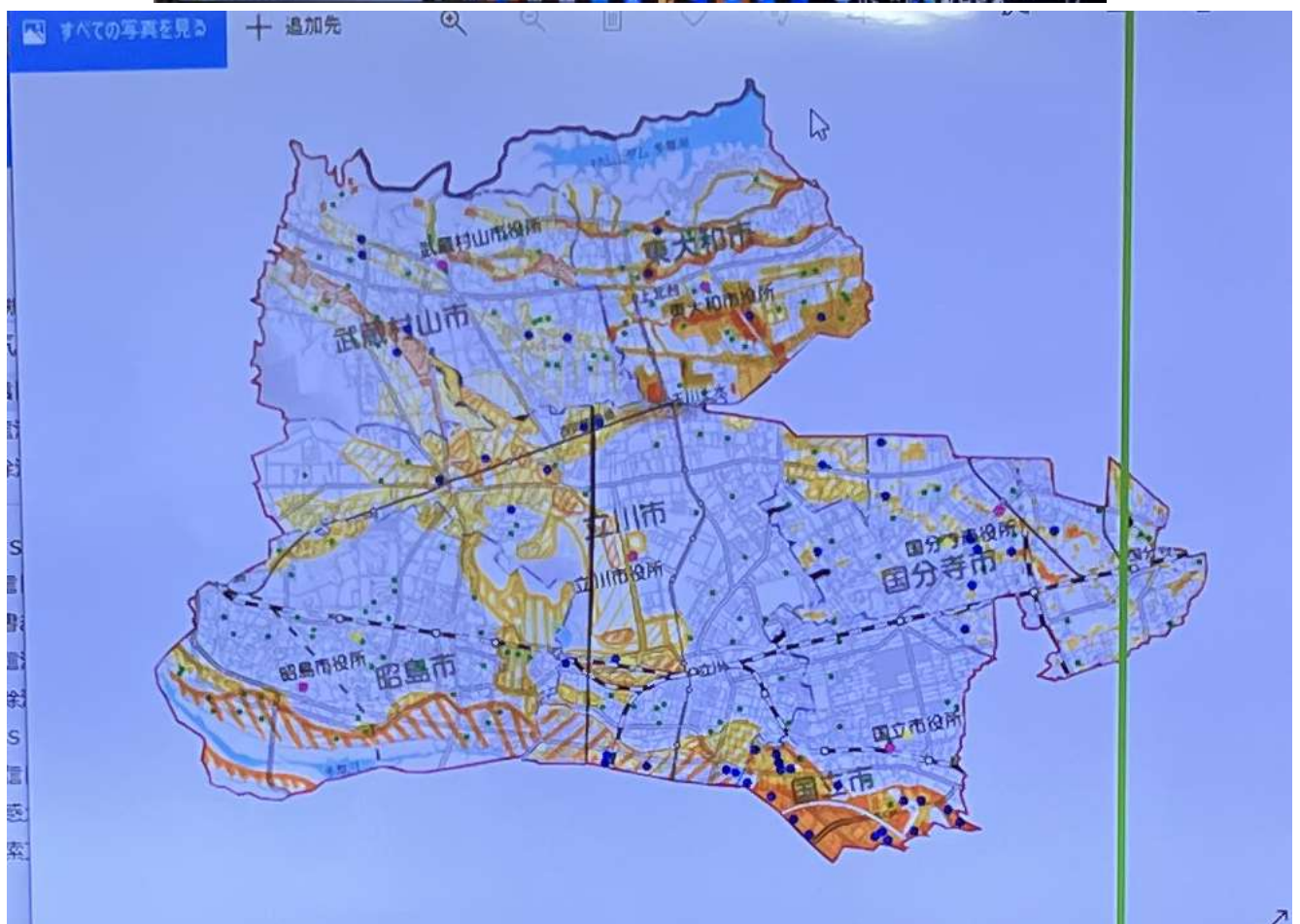
参加者で完成したマップを見ながら東大和市の浸水・土砂災害の危険性のある地域を参加者で確認しました。



近隣地域の浸水・土砂災害ハザードマップの説明

大型画面により東大和市、武蔵村山市、昭島市、立川市、国立市及び国分寺市の6市の浸水・土砂災害ハザードマップの説明が社会福祉協議会からされました。

これによりますと東大和市は全体的に他市に比べて浸水・土砂災害地域が多い事が判りました。



以上